

ほんわか 野郎

幼時より 足の不調があったり 思へぬ苦痛 忍んでくれた (3/11月)

心 への学び 続けてくれた (3/11月)

読書に励み 学んでくれた (3/11月)

感謝溢れる 老後となった (3/11月)

健康おたくで 返せてくれた (3/11月)

娘とカラオケに行き 負けまじり 高得点を 踏んぱる私 (3/11月)

身体は 働き通して ありだう 病気や事故に かわらぬ様に (3/12月)

ありけ時も いやにしてくれ (3/12月)

文句かいわす 八十路まで (3/12月)

私のために 生涯ささげ (3/12月)

不眠不体で 金力つくし (3/12月)

酷使をしたら シグナルくれ (3/12月)

消化吸収 排泄すべて (3/12月)

あなたはいつも 私の味方 (3/12月)

ほんわか 短歌

笑顔には 心なごます 力ある 誰にもできる ボランティア (3/11月)

時おしみ 頭と手足 よくつかい 老後のすみ くいこめる途 (3/11月)

^{にがて}苦手でも 学んで良かった ペン習字 やらなぬなら さびしい老後 (3/11月)

幼時より 足の不調があったから ^{いれり} 傷害人の つらさが解る (3/11月)

り り り 頭をたたく 教えるこへた (3/11月)

り り り 苦手なことも 挑戦できた (3/11月)

り り り ^{おの}己が 生甲斐 ^{さか}探してこれた (3/11月)

り り り 己が身体も 大事にできた (3/11月)

り り り 人の優しさ 心に沁み込んだ (3/11月)

り り り ざういぬ人とも 交りできた (3/11月)

り り り 苦難の山も のりにとられぬ (3/11月)

り り り ^{おや}両親の愛情 心に沁み込んだ (3/11月)

り り り 人のつらさを じっくり ^き聞けた (3/11月)

り り り 苦手がわかる パラバンピック (3/11月)

ほんわ短歌

銭湯で 弱れる父に 舌話す息子 見て我は 胸みあげる (3/11月)

我家族 食事の店で 我等に ^{かたが} 平足となりて せんの上げ下げ (3/11月)
(セルフサービス)

^{くま} 自動車より 重き荷物を 我等に 家族等持ちて 運び入れり (3/11月)

秋晴れに きらきら光る 雪山は 胸にしみ入る 徳高連峰 (3/11月)

山々に 囲まれている 我が街は 四季の移ろい そのまゝ絵画 (3/11月)

山を背の 我が家の冬は しんとく 防寒対策 年毎に増え (3/11月)

^お えり巻を つけているのに つい忘れ 別のをつけて ほけのきざしか (3/12月)

^{いづま} 腹巻をも 〃 〃 〃 バンド締まるす (3/12月)

八十路まで 歩き続けて これたのは 足腰支えし がたのお蔭 (3/12月)

〃 輝く自然 見てこれたのは まな ^(目) 支える 〃 (3/12月)

〃 おいしい料理 味えたのは 口腹支える 〃 (3/12月)

〃 きれいな曲も 聴けたのは 耳支える 〃 (3/12月)

〃 花の香りを 嗅げたのは 鼻を支える 〃 (3/12月)

ほんの、短歌

苦しみは 堪えて 良かった 八十軍 その後の人生 ゆっくり^{でき}おこなって (3/11月)

かたすぎる やり過ぎるとか いわれても 健康おたく 捨てがたいこと (3/11月)

我が爲に 五臓六腑^{ごぞろふ}の皆みか 瞬時やすめ 仲き感謝 (3/11月)

有り難し 外敵防ぐ 免疫群 総力もつ 我身守れ (3/11月)

さむいとか 何度いっても つらさ増す やること^か探し 動く外なし (3/11月)

何仇^なう 上着の人は 寒^{ひや}きぬ 薄衣をまとい さかん:動く (3/11月)

朝あきて やる:とないと 老い^お進む 目標作り ゆったり進む (3/11月)

八十路^{はちろ} 我を交えし はろ^{はろ}に: 常々^{とと}かれと 祈りてやます (3/11月)

100円の ^{こい}永く入れない ジュースのみ フードコトの 外は秋晴れ (3/11月)

ハモニカ 便秘対策 はけ^はや止 ゴキ^ごや止に ^{たの}楽しい時間 (3/11月)

又(お) もやしラーメン 食^くひた のぞにな^なみ (せ^せにたりそ) (3/11月)

1-1^い 自然や花の 映像貼^はって 毎日見^みたら 気分さ^さわやか (3/11月)

あちこちで 笑顔の赤^{あか}い 映像集め 1-1^い貼^はって ストレス解消 (3/11月)